

2024
Aug

Vol. 55

一般社団法人栃木県診療放射線技師会
情報誌

あすたーと

JR 宇都宮駅東口



JR宇都宮駅東口には交流広場「宮みらいライトヒル」と交流拠点施設「ライトキューブ宇都宮」が2022年11月に誕生しました。また、14階建ての複合施設「ウツノミヤテラス」には、宇都宮餃子をはじめ、多くの飲食店やショップがあり、県外の方はもちろん、地元の方も楽しめる栃木の魅力あふれるスポットになっています。

CONTENTS

■ 巻 頭 言	自然災害と、どう向き合う！	2
■ 報 告	第100回 定時社員総会開催報告	3
■ 報 告	令和6年度 第1回卒後教育講座開催報告	4
■ 報 告	令和6年度 フレッシュヤーズセミナー開催報告	6
	フレッシュヤーズセミナーに参加して	7
■ 報 告	2024年度 関東甲信越診療放射線技師学術大会（栃木大会）開催報告	12
■ 報 告	第87回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会参加報告	14
■ 報 告	令和6年度 第1地区卒後教育講座開催報告	15
■ 随想・趣味	とちぎ山日記<中倉山・沢入山>	17
■ 事務局報告		18
■ INFORMATION		19

自然災害と、どう向き合う!



一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
会 長 吉 成 亀 蔵

初めに、2024 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会に演題登録、ご参加、座長をしていただきました皆様に感謝いたします。お忙しい中で多くの方々にご協力をいただき成功裏に終了することができ大変うれしく思っております。本当にありがとうございました。

さて、能登半島地震、そして東北地方の水害等が日本を襲っております。いつ起こるか計り知れない自然災害、どう立ち向かえばよいのでしょうか。

いざという時の備えを行っていますか。私は、実は行っていません。妻が水・食料などをある程度貯めてくれていて、たまに「わかっていますか？」と問いただされる始末です。最近になって防災は大切だと実感しています。皆さんはいかがでしょう。

私の住んでいるところでは、1998 年 8 月下旬に記録的な集中豪雨で那須町や黒磯市(現那須塩原市)に甚大な被害を及ぼした「那須水害」が起きました。当時は那珂川に牛が流れていたなどの話を聞きました。那珂川から自宅は離れているため直接の被害はありませんでしたが、実家が床下浸水をきたし凄量の水が溜まっていました。今や全国各地で台風や豪雨による河川水害が頻発して、昔とは違うなと感じます。

そこで大切なことが家族との連絡方法などだと思います。携帯が使えなかったり停電が起きたりしたときの避難場所や連絡方法などを話し合ってみてください。

技師会も会員の被災状況を把握して、協力体制を築いていきたいと思っております。そこで、皆さんに将来起こるかもしれない災害に備えて各施設に協力いただきながら連絡体制を構築したいと考えております。ぜひ、皆様の力をお貸しください。よろしくお願いいたします。



◀ 夏といえば向日葵ですね。
那須塩原駅近くに咲いていました。

栃木県診療放射線技師会ホームページ

<https://www.tartnet.com/>

検索

ぜひ一度ご覧ください。

第100回 栃木県診療放射線技師会定時社員総会開催報告

- 開催日：令和6年5月25日（土）
- 開催場所：栃木県立がんセンター 本館3階 講堂
(栃木県宇都宮市陽南4-9-13 電話：028-658-5151(代))
- 正会員数：517名
- 有効出席者数：408名（内訳：会場出席者22名、委任状出席者313名、書面議決行使者73名）
- 議事録作成人：大 木 敦 史（那須赤十字病院）
- 議事録署名人：吉 成 亀 蔵（那須赤十字病院）
金 田 幹 雄（獨協医科大学病院）

副会長の須藤昌彦が開会宣言し、会長の吉成亀蔵の挨拶で総会が始まりました。

総会議事に先立ち、本技師会の35年・20年勤続功労表彰が行われ、35年表彰者5名、20年表彰者9名が表彰されました。

総会運営委員長が午後3時50分時点の正会員数と有効出席者数を報告し、本総会が成立することを宣言しました。続いて、議長・議事録作成人並びに議事録署名人の選出を執行部一任でよいと諮ったところ賛成多数にて、議長に理事の三品祐樹、議事録作成人に理事の大木敦史、議事録署名人に代表理事で会長の吉成亀蔵、副会長の金田幹雄が選任されました。

第1号議案：令和5年度事業報告を会長の吉成亀蔵、第2号議案：令和5年度会計決算報告を財務部長の佐藤宏、第3号議案：令和5年度監査報告を監事の若林克幸が行い、それぞれの議案に対し会場に諮ったところ満場一致で承認されました。

第4号議案：令和6年度事業計画及び収支予算書については報告事項であるため、事前に配付した総会資料を供覧していただいているとみなし、質疑のみ募るも意見はありませんでした。

第5号議案：その他としての提案はなし。

議長は全ての議決が完了したことを宣し、降壇しました。

副会長の金田幹雄が閉会を宣言し、解散となりました。

総会運営委員長 橘 川 宏

令和6年度 第1回 卒後教育講座開催報告

- 開催日時：令和6年5月25日（土） 14時00分～16時00分
- 会場：栃木県立がんセンター 本館3階 講堂 Hybrid開催
- 参加人数：現地参加 35名
web視聴 22名
延べ合計 57名
- 内容：

講演Ⅰ 「STAT画像所見報告における基礎知識－頭頸部領域」

講師：国際医療福祉大学 保健医療学部
放射線・情報科学科 教授 樋口 清孝 先生

講演Ⅱ 「マンモグラフィ撮影におけるAI技術の活用とトモシンセシスの実用性」

講師：富士フイルムメディカル株式会社 MS事業部
東日本MSセンター 今川 裕太 先生

座長：佐野厚生総合病院 原口 尚徳

令和6年度第1回卒後教育講座を栃木県立がんセンターにて開催し、57名の参加をいただきました。

初めの講演Ⅰでは「STAT画像所見報告における基礎知識」ということで主に頭頸部領域に関するご講演を、国際医療福祉大学保健医療学部放射線・情報科学科教授の樋口清孝先生に賜りました。内容は、実例のCT画像やMRI画像を会場で閲覧し参加者に考えさせ、キー画像を示した後に所見の解説という流れで、大変わかりやすく興味深いものでした。講演は「STAT START」の合図で始まり、全8症例のSTAT画像所見の報告のポイントをご教授いただき、会場は終始和やかな雰囲気、あっという間の60分の講義でした。

日本診療放射線技師会によりますと、「令和3年10月2日STAT画像報告分科会と名称を変更し、まずは緊急性のある画像について医師に報告のできる診療放射線技師の教育を目指し新たに活動を開始した。夜間診療や救急医療の場では、専門性の高い臨床医が揃うことはまれで、診療放射線技師は、画像に慣れ親しんでいることから、異常所見のピックアップ能力に優れている。したがって、撮影を担当した診療放射線技師からの情報提供は、異常所見の見落とし減少につながる。STAT画像報告分科会は、緊急性のある画像報告の必要性について皆様と共に学び、研鑽を積みながら、その方向性を示して行きたいと考えている。（STAT画像報告分科会について 日本診療放射線技師会）」とあります。

今回の講演でSTAT画像報告について学んだことを、各施設でお役に立てていただければ幸いです。

次に講演Ⅱでは「マンモグラフィ撮影におけるAI技術の活用とトモシンセシスの実用性」ということで富士フイルムメディカル株式会社MS事業部東日本MSセンターの今川裕太先生にご講演を賜りました。内容としては、こだわり抜いた「思いやり設計」ということで患者さまへの配慮が行き届いた装置の話や、撮影におけるアーチファクトの低減技術、また撮影時間の効率を考慮したサイクルタイムの紹介がありました。AI技術を

使用したポジショニングサポート機能の有用性、ワークステーションを利用することによる乳腺量の測定やその他の計測など興味をひかれるものでした。さらに今年度は診療報酬改定が行われましたが、特にトモシンセシス加算の新設についても知ることができました。

最後に、今回の講演では、症例が大変興味深く、解説も具体的でわかりやすい、明日から臨床の現場で自分が遭遇するかもしれないものであると感じました。ただ、実際に STAT 報告を実践に移すには各施設、時間と労力がかかると思います。今回の卒後教育講座を通して、「緊急性のある画像について医師に報告のできる診療放射線技師の教育」という面で特に勉強になったと思います。それが会員の皆様の、今後の活動に反映されれば幸いです。

以上で開催報告とさせていただきます。



開会の挨拶をする吉成会長



講師
国際医療福祉大学
樋口清孝教授



座長を務める原口理事



司会を務める木村理事

令和6年度 栃木県診療放射線技師会 フレッシューズセミナー開催報告

- 開催日時：令和6年6月9日（日） 9時00分～15時30分
- 会場：栃木県総合文化センター 第2会議室
- 参加人数：34名

内 容

栃木県診療放射線技師会は令和6年6月9日（日）にフレッシューズセミナーを開催した。日々の診療における基礎知識の習得、職場におけるコミュニケーションづくり、県内の診療放射線技師間のネットワークの構築を目的とし、エチケット・マナー、医療コミュニケーション、医療安全、医療用語、感染対策、被ばく低減、入会案内の7科目を用意し対面形式で開催した。

対象者を免許取得後1～2年目の診療放射線技師とし県内各施設に通知したところ、19施設から申し込みがあり、34名の参加だった。フレッシューらしく初々しい姿が眩しく、真剣に聴講している姿が印象的だった。本年は「医療用語」を栃木県独自の講義として用意し、日々の臨床で医師や看護師が使用する用語、略語を確認できたことは非常に有意義だった。

自己紹介の場では、趣味、特技、現在所属している分野等を話してもらうことで和やかな空間が生まれ、それ以降の講義に対して緊張が解れ、講義への理解度が高まったり、横のつながりを構築できたりした。

今後は同じ放射線技師会会員として卒後教育講座や学術研究発表会等で研鑽し、会全体を盛り上げていきたい。



理事 佐藤 宏

フレッシューズセミナーに参加して

那須赤十字病院 葛 貫 千 絵



今回のフレッシューズセミナーでは、他院の「同期」である方々と交流する貴重な機会を頂きました。病院内では同じ悩みを共有できる人が限られているので、自分の中で消化しようとすることも多くありました。しかし、栃木県内だけでも同じような環境の仲間がたくさんいることが分かり、とても心強く感じました。このような病院を越えた交流ができる場があることで自身が診療放射線技師として働く姿を客観的に捉えることができます。

できます。

院内の研修と今回のセミナーで内容が重なるところがありましたが、これは重要性を再認識できる良い機会となりました。4月の研修時はまだ病院内の装置や患者様と触れる前で、講義を聞いても現場での様子があまり想像できませんでした。しかし、今回のセミナーは臨床現場での経験後であったので、重要性等を理解しやすかったです。4月に入職して慣れ始めた頃にセミナーをして頂くことにより、私自身再び気を引き締めることができたと感じました。今後も初心を忘れず、患者様のために行動できる診療放射線技師となれるよう努めます。

那須赤十字病院 鈴木 遥 也



フレッシューズセミナーに参加して、今まで会うことの無かった栃木県の新人同期達と交流することが出来ました。様々な病院から新人が来ていたので、それぞれの病院の特色、強みや、新人教育の進め方の違いを知る良い機会になりました。

特に新人教育においては、病院によって期間がまちまちで、一週間でローテーションする施設もあれば、一ヶ月同じ部署で研修する施設もありました。それぞれの教育方針のメリット、デメリットを話し合うことができ、とても有意義な時間でした。

また、医療安全や現場で使う略語に関しても講義していただきました。学生の時に覚えた略語の別称や、知らない略語も多く改めて勉強になることばかりでした。そして、オペ室を始めとする様々な検査に使用する器具の名称も紹介していただいたので、略語と併せて覚えさせていただきました。これらは知らなければ備えることの出来ない事項ですので、細かく教えていただき大変勉強になりました。今回の経験を生かして、共に栃木県を支える技師を目指していきます。

国際医療福祉大学病院 放射線室 益 子 七 海

6月9日に、診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーに参加しました。ノックや電話、報告の仕方など、社会人としての基本的なエチケット・マナーはもちろん、コミュニケーション技術、医療安全、医療用語、感染対策など、診療放射線技師として知っておくべき基礎知識を学ぶことができました。特に、臨床現場では大学で聞き慣れない略語が多く使用されるため、入職したばかりの私たちにとってはすぐに役立つものだと感じました。セミナーでは、栃木県内の病院に入職した新卒診療放射線技師と実際に交流する機会もあり、現状を共有したりすることで自分自身もさらに頑張ろうと思うきっかけになりました。

獨協医科大学病院 香 山 郁 海



写真左から小島菜々葉、脇坂愛、栗林茜、香山郁海、人見明輝、小島美々子

先日はお忙しい中フレッシューズセミナーを開催して頂き、誠にありがとうございました。当院からは6名の新入職員が参加いたしました。医療人としてのエチケットやマナー、医療コミュニケーションだけでなく、医療用語、安全管理、感染対策、被ばく低減といった、私たち新人に必要な不可欠な知識について学ぶことが出来ました。

特に医療安全についての講義が心に残りました。受け入れることの出来ないリスクを減らしていくことが安全ということであり、そのために必要な確認事項や移動時に注意すべきこと、安心して報告できる体制の構築も重要

であることを学ぶことが出来ました。実際に安全に検査を行うことの重要性和難しさを痛感していたため、診療放射線技師としてどう安全に検査していくかを考えるよい足がかりとなりました。

また、被ばく低減についての講義も強く印象に残りました。被ばく防護の三原則についてや、不安をもつ患者さんとの対話の大切さについて講義して頂きました。患者さんの不安をできる限り取り除くためには、技師自身が放射線について十分な知識を備えていなくてはなりません。業務だけでなく、日々の勉強を続けていかなければならないと思いました。加えて、私たちが日々の業務で用いる放射線による影響や、それを少しでも抑えようとする姿勢は決して忘れてはならないものだと思改めて感じました。

今回のフレッシューズセミナーを通して、非常に多くの大切な学びを得ることが出来ました。これを基礎とし、学びを深めていくことはもちろんですが、今後もこのような勉強会に積極的に参加し、自身の成長に繋げていければと考えています。

済生会宇都宮病院 白鳥舞士

私は、診療放射線技師として初めて社会に出て働くこととなり、右も左もわからず、しっかり先輩方のように業務を行っていかれるかどうか不安でいっぱいでした。そんな中で、診療放射線技師会が開催するフレッシューズセミナーの存在を知り、新人診療放射線技師として知っておくべき基礎知識が学べるのではないかと思います、参加することになりました。セミナーは、医療者として必要な医療安全学や、エチケット・マナー、感染対策、医療上のコミュニケーション、被ばく低減について、医療用語などの内容でした。技師としての業務の全体像や、知っておくべき知識を広く網羅することができ、技師として働き始める人にとって、とてもありがたいセミナーだと感じました。これから診療放射線技師として働き始める皆さんにもぜひこのセミナーに参加していただき、よりよい診療放射線技師としての人生のスタートを切ってほしいと思います。

宇都宮記念病院 石坂公輔



各先生方の講義を通し、エチケットやマナー、感染対策をはじめ新人医療従事者としての自覚を再確認できる貴重な機会でありました。特に、医療コミュニケーションの講義では、臨床において発生した実例を挙げていただき、話し手と聞き手の相違や、患者様への適切なクレーム対応など、これから臨床の場で働く私たちにとって、実のあるお話しばかりでした。また、医療用語の分野が、今後自分への課題として挙げられました。

講義内では一部を紹介していただき、まだまだ自分の知らないものばかりで大変驚きました。これらの医療用語は多職種で構成される医療業界において重要な、情報共有へ活用されるため、働きながら少しずつ身につけ知識の幅を広げていきたいと考えました。セミナーの空き時間では、各参加者の自己紹介の場を設けていただき、放射線技師会の活動内容をふまえ、人との繋がりの重要性を感じることができました。今後もこうしたセミナーや学会へ積極的に参加し、自身の知識や撮影技術の向上を目指したいと思いました。

宇都宮記念病院 加藤瑠華



フレッシューズセミナーでは、40人の新人放射線技師が講習を受けました。

講習では、医療従事者としての心得や対応の仕方など様々なことを学ぶことができました。特に医療コミュニケーションでは、医療従事者内で、十分なコミュニケーションをとることによって事故を予防でき、患者様に最善の医療を提供できることを学びました。また、被ばく低減の講話を聞き、患者様には最適な被ばくを、自分自身はなるべく被ばく

くしないように心掛けようと思いました。

また、放射線技師会の活動内容を知り、今後様々なセミナーに参加し、知識を増やして、放射線技師としての技術を磨いていこうと思いました。

宇都宮記念病院 齋 藤 叶 羽



今回のフレッシューズセミナーを通して、初めての医療現場において必要な基礎的な医療安全、エチケット・マナー、感染対策などを学ぶことができました。

医療において、患者様はもちろん医療従事者の間で良好なコミュニケーションをとることで医療事故やミスを防ぎ、患者様に最適な医療を提供できると思いました。

また、技師会についての活動内容を知ることができ、日々の業務をしながら講習会や学術大会にも取り組み、医療人として医療技術の進歩に伴いこれから学び続けることの大切さを感じました。

そして、フレッシューズセミナーでは、他病院の放射線技師とも交流することができました。今後もこのような研修会に参加し、切磋琢磨していこうと思いました。

足利赤十字病院 梅 澤 琉 花

令和6年6月9日に新人診療放射線技師を対象としたフレッシューズセミナーに参加しました。医療従事者として必要な医療安全学や医療感染学、エチケット・マナーだけではなく、診療に対応できる新人放射線技師として知っておくべき基礎知識を講義していただきました。

中でも印象に残っているのは医療安全に関する講義です。お話の中で、インシデントの傾向として技師1年目の7月から9月にかけて増加するとのことでした。技師として働いて2ヶ月ほどたち、少しずつ業務にも慣れてきたところであるため、より一層気を引き締めて業務に取り組むとともに、危険な事例について内容を共有し、事故の防止に努めたいと思います。

また、感染対策の講義の中で、感染対策は放射線防護とセットで考えると良いというお話がありました。感染者と距離を取り、接触する時間を短くすると感染リスクを下げるができるため、媒介者となりやすい職種であることを自覚し、正しい対策を今後も実施していきたいです。

今回のセミナーで学んだことを日々の業務に生かし、取り組んでいきたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

佐野厚生総合病院 野 村 巧 斗



令和6年6月9日(日)に栃木県総合文化センターで開催された診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーに参加しました。そこでは、エチケット・マナーや医療安全、医療用語や感染対策、被ばく低減といった、医療人として働いていく上で必要となる基礎知識を教えていただきました。また、他病院の新人技師さんのお話を聞く機会も設けて下さり、とても良い刺激になりました。今後は、このフレッシューズセミナーで学んだことを忘れることなく仕事に励み、勉強会にも積極的に参加していきたいと思います。

佐野厚生総合病院 百 瀬 阜 生



令和6年6月9日に行われたフレッシューズセミナーに参加させていただきました。このセミナーでは、医療人としての基礎知識の再確認、普段の職務だけでは学ぶことができない社会人としてのマナーなどを学ぶことができました。また、同世代の診療放射線技師との交流もあり、今後の診療放射線技師としての業務に対して刺激を受けることができました。

とちぎメディカルセンターしもつが 寺 内 裕太郎



令和6年6月9日に栃木県総合文化センターで開催された新人診療放射線技師対象のフレッシューズセミナーに参加してきました。エチケット・マナー、医療コミュニケーション、医療安全、医療用語、感染対策、被ばく低減の6つの講義を通じて医療従事者として必要な基礎知識を学ぶことができました。6つの講義の中でエチケット・マナーの講義が最も印象に残っています。

私は病院に入職と同時に「笑顔で接遇する診療放射線技師になる」という目標を掲げました。それは、患者さんの中には検査に対しての緊張や不安、恐怖心を持たれている方も少なからずいます。そのような気持ちを軽減するには私たち医療従事者が患者さんに笑顔で接遇することが必要だと思ったからです。今回のエチケット・マナーの講義の中で、質の高い検査を行うためには医療従事者と患者さんの間に信頼関係の構築は欠かせないことであり、信頼関係の構築には患者さんの声に耳を傾ける傾聴力や患者さんの気持ちに共感すること、患者さんの緊張や不安を和らげる心理的サポートが必要だと分かりました。私は日々の接遇を笑顔で行うことを心掛けています。笑顔で接遇をしているとその場の雰囲気と同時に患者さんの表情が和んだように見えたことが数多くあります。今回のエチケット・マナーの講義を通じて、笑顔で接遇を行うことは医療従事者と患者さんの間の信頼関係の構築に必要なものであると再確認することができ、入職と同時に掲げた目標と日々行っている接遇に自信を持つことができました。

今回のフレッシューズセミナーで得た学びを日々の業務に取り入れて、より患者さんに寄り添える診療放射線技師になれるよう精進してまいります。また、今後開催される講習会や勉強会に積極的に参加し、更に自分自身をアップデートしていこうと思います。

2024年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 開催報告

2024 年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 実行委員長

副会長 金 田 幹 雄

2024 年 6 月 29 日（土）、30 日（日）の 2 日間にわたり栃木県総合文化センターサブホールをメイン会場に標記学術大会が開催された。この学術大会は日本診療放射線技師会の北関東地域と南関東地域 1 都 9 県の診療放射線技師会が主催し各都県技師会が持ち回りで 10 年に 1 回開催を担当しており、今年度は栃木県診療放射線技師会が開催を担当した。

サブホールの他、特別会議室、第 1 会議室、第 2 会議室を会場に副会長講演、特別講演 2 題、教育講演、シンポジウム 3 題、一般演題発表 67 演題、インターナショナルセッション 6 演題、ランチョンセミナー 3 社、Basic セミナー 5 題、市民公開講座が行われ、また第 4 ギャラリーにて協賛企業 11 社の企業展示を行い、参加者数は、会員、非会員、学生を合わせて 360 名であった。

当初は 2022 年度の開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から 2020 年度と 2021 年度の 2 年間にわたり開催が見送られ延期されたことから 2024 年度の開催となった。

今回は日本診療放射線技師会の上田会長が都合により来られなかったが、富田副会長に「JART の 2024 年度事業の概説と 2040 年に向けて」と題して副会長講演をしていただいた。特別講演Ⅰでは、元厚生労働省医務技監で新型コロナウイルス感染拡大初期において厚労省のコロナ対策司令官としてご活躍された国際医療福祉大学学長の鈴木康裕先生に「新型コロナウイルスと今後の医療」について講演していただいた。特別講演Ⅱでは、診療放射線技師で唯一の衆議院議員、畔元将吾先生に「国政報告～診療放射線技師初の国会議員として～」を講演していただき、その講演の中で岸田首相から我々診療放射線技師に向けたビデオメッセージをいただいた。教育講演では獨協医科大学放射線医学講座主任教授の曾我茂義先生に「IVR と画像診断の鍵を握る、頼れる診療放射線技師とは」を講演していただいた。また、市民公開講座では栃木県宇都宮市出身のメジャーリーグジャーナリスト AKI 猪瀬氏に「個性と組織論～メジャーリーガーから学ぶ～」と題し、MLB の組織としての一面を分かりやすく話していただいた。シンポジウムでは「他職種を知ろう！～タスクシフト・シェアで業務がどのように変わってきたか～」を企画し、我々診療放射線技師と同様に業務拡大が行われた臨床検査技師、臨床工学技士の方に参加していただき意見交換を行った。さらに、東京都診療放射線技師会と学術提携しているソウル特別市放射線士会（SRTA）を迎えての国際セッションを行った。

以上のように盛りだくさんの内容で、参加していただいた方々には、十分楽しんでいただけたのではないかと考えている。

実行委員会を発足してから約 2 年をかけて準備をしてきたが、大きなトラブルもなく無事に 2 日間にわたる大会を終えることができ、楽しい 2 日間であった。講演をしていただいた先生方、シンポジストや演題発表をしていただいた会員、並びに参加していただいた会員各位に感謝する。



日本診療放射線技師会
副会長講演
富田博信 先生



特別講演Ⅰ
国際医療福祉大学 学長
鈴木康裕 先生



特別講演Ⅱ
衆議院議員
畦元将吾 先生



教育講演
獨協医科大学 主任教授
曽我茂義 先生



市民公開講座
メジャーリーグジャーナリスト
AKI 猪瀬 先生



2024 年度 関東甲信越診療放射線技師学術大会 実行委員

第87回公益社団法人日本診療放射線技師会 定時総会参加報告

- 開催日時：令和6年6月15日（土） 13時00分～
- 会 場：Webex ウェビナーによるオンライン形式

第87回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会が令和6年6月15日（土）13時から日本診療放射線技師会 事務局 会議室を会場に Webex Webinars によるオンライン形式で開催され、栃木県の代議員としては吉成会長、金田副会長、須藤の3名が参加した。

総会資料は日本診療放射線技師会誌6月号に掲載されているので参照願いたい。

総会出席にあたっては、事前に登録したIDが必要で、開会20分前までの入室が求められ、開会後には入室できないなど会場型同様に厳格に行われた。また、今回からはスマートフォンでの参加が可能となったが、利用機器に関わらずトラブル等で一度退出してしまった場合は再入室することはできず、各投票にあたってはグランド社の「e投票」が導入され、当日の投票締切り時間まで修正が可能ではあるが、第1号議案から第3号議案について事前に投票をしておくことができるなど、事前の準備と確認が重要であった。

石川県の森下会長より能登半島地震に対する支援のお礼が述べられた後、富田副会長の挨拶で定時総会が開会した。報告事項の中で、オンライン学習コンテンツの進捗について東京都の野口代議員から質問があり、システム上コンテンツをアップするのに数ヶ月かかるために時間を要しているが順調に進んでいることが説明された。また、事業計画においてもいくつか質問があったが、告示研修の項目に「新たな注射行為に対する研修を実施する」とするのはワクチン注射（筋注）に対応するためであることが説明された。

今回は3つの議案があり、第1号議案の会費等納入規程改正（案）は、「技師籍登録年度の入会者に限り初年度会費を無料とする」というもので、賛成多数で可決された。大学院生の対応についての質問があったが、技師籍登録時に入会していただき2年目以降は会費の免除規程での対応をとってほしいとの説明があった。第2号議案の入会等に関する規程改正（案）は、第1号議案で認められた初年度会費無料となる入会者に対応するための改訂であり、こちらも賛成多数で可決された。第3号議案の令和6（2024）・7（2025）年度役員選任については、地域理事、会員外理事、全国理事、監事の立候補者についてそれぞれ諮られ、全員が過半数以上の賛成を得られて当選した。その後の理事会の結果、会長には3期目となる上田理事、副会長には北関東地域の富田理事と児玉理事、九州地域の江藤理事の3名が選任され、業務執行理事として中日本地域の江端理事が選任された。上田会長からは、今後の抱負として2040年問題を見据えた事業展開を進めていくことが強調された。

最後に10月31日（木）より沖縄で開催される第1回日本放射線医療技術学術大会（第40回日本診療放射線技師学術大会は技術学会と合同開催される）において842演題が集まったことが上田会長から発表され、PR動画による紹介が沖縄県診療放射線技師会の長野大会長より行われ、約2時間に及び総会が終了した。

副会長 須 藤 昌 彦

令和6年度 第1地区 卒後教育講座 開催報告

- 日 時：令和6年7月26日（金） 18時30分～19時40分
- 開催方法：Hybrid形式（会場：国際医療福祉大学 F-201、Web：Microsoft Teams）
- 内 容：講 演 I 造影剤の最新情報のご提供

講師：GEヘルスケアファーマ株式会社 医薬営業本部

関東甲信越営業部 造影剤領域担当 長砂 美沙希 先生

講 演 II 症例勉強会 ～各施設の医療安全の取り組み～

II-1：那須赤十字病院 大木 敦史 会員

II-2：国際医療福祉大学病院 小貫 竜也 会員

II-3：国際医療福祉大学塩谷病院 塩野 央 会員

- 参加人数：53名

令和6年度第1地区卒後教育講座を、会場・WebのHybrid形式で開催いたしました。会場では会員13名、非会員1名の参加で、WebからはMicrosoft Teamsによるログイン方式のため、会員39名となり、合計で53名の参加がありました。

最初のセッションの講演Iでは、GEヘルスケアファーマ株式会社医薬営業本部造影剤領域担当の長砂美沙希先生による「造影剤の最新情報のご提供」のご講演を賜りました。初めに、CT用の非イオン性ヨード系造影剤「オムニパーク」の情報提供がありました。イオン性と非イオン性の違いや、水溶性（親水性・疎水性）の違いによっての副作用の発生率などを細かく教えていただきました。引き続きMRI用のガドリニウム造影剤「ガドテル酸メグルミン静注 38% シリンジ」の製品特徴と、改訂薬価の情報提供がありました。後発品のガドリニウム造影剤を使用することによって、薬剤費抑制による患者負担の軽減、入院時（DPC）の医療機関の支出軽減、医療保険財政の改善が期待できるとのお話でした。

次のセッションの講演IIでは、栃木県診療放射線技師会学術部の統一規格である「医療安全の取組」から、「第

1地区の各施設における医療安全の取り組み」と題し、各施設での医療安全に関する発表が行われました。

最初の発表者の那須赤十字病院の大木敦史会員からは、主にMRIでの医療安全の取り組みを発表していただきました。那須赤十字病院では、看護師、医療技術系、事務方にMRIの安全に関する意識調査を行い、MRI室内に持ち込めないものや持ち込みに注意が必要なものの調査を行っていました。また、職員向けに年3回程度のMRIの講習会・勉強会を行っているとのこと。ほかに那須赤十字病院の放射線科での取り組みとして、医療安全新聞を毎月発行して一ヶ月のインシデント・アクシデントデータを内容がわかりやすいように編集し、新聞に載せているそうです。このようにすることで放射線科全体に周知され情報の共有がなされるのだと思いました。

続いて国際医療福祉大学病院の小貫竜也会員は、まず病院での医療安全の体系や取り組みを発表し、続いて放射線室で行っている医療安全の取り組みが紹介されました。その中でも放射線室が主催して行われた「造影剤使用時に発生した副作用の訓練」は、興味深いものでした。患者役の医療スタッフ、放射線科医、

看護師、診療放射線技師が参加して実際に検査中に重篤な副作用が発生した想定で訓練を行っていた様子が紹介されました。年に2回訓練を行っていて、CT、MRIで交互に行われているとのことでした。

最後に国際医療福祉大学塩谷病院の塩野央会員による発表が行われました。塩谷病院放射線室では以前、患者の取り違い、撮影部位間違いの発生頻度が高いとのことでしたが、患者の取り違いはRISを導入してからは発生していないとのことでした。撮影部位の間違いに関しては、医師側ではオーダーミスが主で、放射線技師側は撮影部位の確認を怠り、誤ったオーダーのままで撮影を行ったなどそれぞれに原因がありました。患者には撮影部位を伝え、左右の選択肢がある

場合は左右のどちらかを患者本人に確認し、さらにダブルチェック体制を整えるなどの対策を講じたことでミスを未然に防げるようになったとのことでした。

質問は会場では挙手により、Webではチャットによる質疑の形式で行いました。会場からもWebからも質問があり、医療安全に対する関心の高さが伺えました。

新型コロナウイルス感染症がまた少しずつ流行の兆しを見せてきましたが、しっかりとした感染対策のもと第1地区では今後の卒後教育講座を開催したいと思います。

大変お忙しい中ご講演いただきました先生方、ご参加された会員の皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



GE ヘルスケアファーマ株式会社 医薬営業本部
長砂 美沙希 先生



那須赤十字病院 大木 敦史 会員



国際医療福祉大学病院 小貫 竜也 会員



国際医療福祉大学塩谷病院 塩野 央 会員

第1地区理事 橘 川 宏

とちぎ山日記



爽快な尾根を進む

<中倉山・沢入山>

2024 年春

足尾銅山といえば日本で最初の公害と言われる足尾鉍毒事件で有名だが、これにより周囲の山は禿山となり、未だに樹木の少ない岩稜帯となっている。

銅（あかがね）親水公園からゲートをくぐり林道を1時間ほど歩くと中倉山への登山口に着く。登山口のある山肌は樹林が保たれている。

登山口で一息ついたら急坂の山道に入る。息を切らせて枝尾根に出たらひと休み。

ここからは枝尾根の登りがはじまる。やがて樹林が深くなり落ち葉でかなり山道が埋まっているがルートは明瞭でさほど歩き難くも無い。

横場山からの尾根に出ると展望が開け、歩き始めた銅親水公園を見下ろすことができる。この辺りは鉍毒により松木川沿いの北面がガレ場^{*1)}になっているが、そちらに近づかなければ危険ではない。少し登ればすぐに平坦な草原に出る。

中倉山の山頂は目の前だ。

山頂からは男体山や半月山、日光白根山などの眺望を楽しむことができた。

開けた尾根を鞍部^{*2)}まで下ると、鉍毒に負けずに残った1本のブナの木がある。「孤高のブナ」

と呼ばれ、パワースポットとして中倉山の象徴になっている。



眺望の開けた草原に出れば山頂は目の前だ



中倉山山頂

ここから先は、南面が樹林帯、北面は松木川へ切れ落ちた断崖の対照的な尾根歩きとなる。

鉍毒によってこのような景色になってしまったのは残念ではあるが、アルプスを思わせるような荒涼とした、まるで高山の様な尾根歩きを楽しむことができる。

主に樹林帯寄りの安全な尾根道だが、数箇所の短い岩稜帯を越え、登り返すと沢入（そうり）山に着く。沢入山の先には草原が広がり休憩適地だ。



沢入山に広がる草原で休もう

草原で絶景の昼食を堪能しよう。GW頃にはヤシオツツジも良いらしい。

山頂先の小ピークに立つ

と、オロ山へと続く稜線も素晴らしい。

皇海山もピラミダルに聳え立っている。

今回は無理をせずに沢入山までとしたが、この眺望を楽しめただけでも感無量である。



鞍部に立つ孤高のブナ

下山は少し楽をして孤高のブナから中倉山の巻き道を下る。途中に展望の良い岩場が2ヶ所ありお勧めのルートである。孤高のブナを目的とするなら、この巻き道で登ってくるのも良いだろう。孤高のブナにパワーを貰って、「明日からまたがんばろう」という気になれる。

1,500 m程の低山ではあるが、急坂を登った達成感と荒涼とした絶景を楽しむことのできる素晴らしい山であった。

登山用語の豆知識

*1) ガレ場：岩屑がガラガラと積み重なった場所

*2) 鞍部：山の尾根のくぼんだ所

会の動静

- 4/4 国際医療福祉大学入学式〈樋口理事〉
- 4/6 第1回業務執行理事会・監査会
(栃木県庁舎西別館共用会議室)
- 4/11~14 第80回日本放射線技術学会総会学術大会
(パシフィコ横浜・Web: 4/15~5/16)
- 4/18 第1回理事会(栃木県庁舎西別館共用会議室)
- 5/7 あすたーとVol.54 配信
- 5/24 2024年度関東甲信越診療放射線技師学術大会臨時実行委員会(栃木県総合文化センター)
- 5/25 第100回定時社員総会・勤続35年・25年表彰
(栃木県立がんセンター)
令和6年度第1回卒後教育講座
(栃木県立がんセンター)
- 6/9 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー
(栃木県総合文化センター)
- 6/11 2024年度関東甲信越診療放射線技師学術大会施設利用打ち合わせ会議
- 6/13 第2回業務執行理事会
(栃木県庁舎西別館共用会議室)
- 6/15 日本診療放射線技師会第87回定時総会
- 6/20 2024年度関東甲信越診療放射線技師学術大会第10回実行委員会
令和6年度栃木県がん集検協議会理事会
(吉成会長)
- 6/29~30 2024年度関東甲信越診療放射線技師学術大会(栃木県)
- 7/13 公益社団法人日本放射線技術学会関東支部70周年記念式典・祝賀会〈吉成会長〉
- 7/14 全国会長会議
- 7/21 第11回告示研修(栃木県総合文化センター)
- 7/25 第2回理事会(栃木県庁舎西別館共同会議室)



会員の動静

令和6年8月1日現在(敬称略)

■ 会員総数 527名

第1地区	93名	第2地区	95名
第3地区	171名	第4地区	67名
第5地区	97名	県外	4名

■ 入 会

齊藤 公平	独立行政法人 国立病院機構 栃木医療センター
杉山 美咲	那須赤十字病院
鈴木奈美絵	社会医療法人中山会 宇都宮記念病院
腰塚 桃子	足利赤十字病院
梅澤 琉花	足利赤十字病院
石坂 公輔	社会医療法人中山会 宇都宮記念病院
齋藤 叶羽	社会医療法人中山会 宇都宮記念病院
加藤 瑠華	社会医療法人中山会 宇都宮記念病院
阪井 智哉	今市病院
葛貫 千絵	那須赤十字病院
佐藤 翼	国際医療福祉大学病院
長澤 美羽	那須中央病院
益子 七海	国際医療福祉大学病院
直井 璃菜	石橋総合病院
佐藤 文生	自治医科大学附属病院
野村 巧斗	佐野厚生総合病院
百瀬 皐生	佐野厚生総合病院

■ 転 入

植木 壮	足利赤十字病院
石島妃奈子	医療法人いなば整形外科
城島 悠里	独立行政法人 国立病院機構 栃木医療センター

■ 転 出

眞塩 雅季	東京都へ
佐山 和弥	東京都へ
渡邊 城大	群馬県へ
鬼沢 隆一	茨城県へ
篠原沙耶香	茨城県へ

■ 異 動

大橋 智洋	足利赤十字病院 → 自治医科大学附属病院
塩谷 宏章	とちぎメディカルセンター 総合健診センター → とちぎメディカルセンターしもつが

令和6年度 活動予定表

令和6年

8/25(日) 第12回告示研修(栃木県総合文化センター)
 9/29(日) 第13回告示研修(国際医療福祉大学)
 9/30(月) 会費納入期限
 10/10(木) 第3回業務執行理事会
 10/20(日) 第14回告示研修(栃木県総合文化センター)
 10/31(木)～11/3(日) 第1回日本放射線医療技術学術大会
 (沖縄コンベンションセンター)
 11/ 9(土) 第2回卒後教育講座
 第3回理事会
 11/17(日) 第15回告示研修(栃木県総合文化センター)
 12/12(木) 第4回業務執行理事会

令和7年

1/10(金) 会誌116号発行
 1/11(土) 第4回理事会
 1/30(木) 第4地区卒後教育講座
 2/13(木) 第5回業務執行理事会
 3/ 2(日) 第19回学術大会
 第3回卒後教育講座
 第5回理事会

ご案内

第11回 栃木 MRI 技術研究会@ WEB 『頭頸部領域：最近の知見と工夫』

開催日時：2024年9月7日(土) 14：50～17：10

開催形式：WEB (Zoom Webinar)

参加費：500円

(チケット代金の返金は、承れません)

参加方法：ACTAIT TICKETサイトより視聴チケット
 をご購入ください

共 催：栃木MRI技術研究会

(株)フィリップス・ジャパン
 バイエル薬品(株)

* 日本磁気共鳴専門技術者認定機構の認定ポイントは
 事前にRacneにて申請が必要です。

ご案内

令和6年度 各地区卒後教育講座予定

今年度の各地区卒後教育
 講座の開催予定をお知らせ
 します。

開催方法など詳細は確定
 次第、ホームページ等で
 情報公開いたします。



開催地区	開催日	内 容
第1地区	2024年 7月26日(金) (開催済み)	I. 造影剤の最新情報のご提供 [GE ヘルスケアファーマ(株)] II. 第1地区の各施設における「医療安全の取り組み」
第2地区	2024年 9月19日(木)	第2地区の施設における「医療安全の取り組み」 ①当院における医療安全推進センターの取り組みと 分析法 POAMについて ②当院放射線部におけるインシデント管理および報 告書確認管理について
第3地区	2024年12月(予定)	医療安全の取り組み(詳細未定)
第4地区	2025年 1月30日(木)	医療安全の取り組み(詳細未定)
第5地区	2025年 2月20日(木)	医療安全の取り組み(詳細未定)

一般社団法人栃木県診療放射線技師会

あすたーと

2024
Aug.

Vol. 55

編集・発行

発行人 吉成 亀蔵

一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
 〒320-0032 宇都宮市昭和1丁目3番10号
 栃木県庁舎西別館404号

TEL・FAX 028-625-7979

銀行振込: 足利銀行本店 (普通) 1785921

郵便振替: 00340-3-35730

URL <https://www.tartnet.com/> E-mail tart@ce.mbn.or.jp